

出席：小澤・石川・小西・松村・長澤・渡部・中山・山本(伸)・山本(真)  
オブ参加：隈(本部理事) 楠田(次期幹事予定者)

### 1 次年度総会、年会の開催に向けて

3月5日に会場予約ができたことから、次の日程、場所が決定した。

日程：6月28日(土)、場所：大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)大会議室3

今のところ、例年通り午前中に理事会を開催し、午後に総会と年会を開催する予定だが年会の申し込みが多い場合、一部の発表を午前中にまわすことも可能となっている。

開催予定のお知らせを「天気」4月号に掲載すること、及び年会発表の募集にあたっては申し込みと原稿の締め切りを同日とし5月16日(金)とすることが決まった。

### 2 次期役員及び4月期の人事異動対応について

今年度は2年に一度の役員改選に当たり、2月29日に大阪管区気象台の三井清氏と本田英司氏の両会員を選挙管理委員に任命し、4月3日から18日を役員立候補届出の期間とした。

4月期の人事異動により小澤、松村両理事と山本伸二幹事の退任が決まったことから、後任の早急な人選と事務手続きを進める。なお、幹事としては大阪管区気象台気候・調査課の楠田和博氏が内定し、常任理事会にもオブ参加していただいた。

### 3 支部会計の本部会計への統合について

日本気象学会は支部も含めて単一の法人であり、本来支部も含めて財務諸表や収支決算書、収支計画書を作成して公表しなければならない。また、公益法人改革関連法が2008年12月に施行されるが、日本気象学会は同法の下で「公益認定」を受け、2010年度から新たな公益社団法人として活動することを目指している。このため、2009年度からの各支部会計の本部への一本化が提案されたので、関西支部としての対応を検討した。

席上では支部が保有している繰越金や日本気象協会関西支社からの寄付を基金として続けている「関西支部調査研究奨励金」の扱いが議論の中心となったが、結論には至らなかった。そこで、このことに関する質問事項を整理したうえで本部に提出し、その回答を受けて改めて次回常任理事会で協議することとした。

### 4 2008年夏期大学実行委員会(第1回の報告)

2月15日(金)16時から京都大学防災研究所において、石川、塩谷、小西、渡部各委員が出席して第1回実行委員会を開催し、テーマ及び講座の概要について次のとおりとすることが決まった。

テーマ：「大気を診る」

近年取り組まれている気象観測手法の主なものを紹介するとともに、それらの成果をどのように取り込んで数値予報が作られているかをみていく。

講座概要：1 身近なハイテク気象観測、2 ウインドプロファイラー関連、3 最近の気象衛星データ関連、4 観測データと気象予報(数値予報の初期値としてのデータ取り込み)

その後、8月5日(火)と6日(水)のいずれも午後、昨年と同じく「キャンパスプラザ京都」で開催することが決まり、講師の人選を進めている。また、往復はがきとともにメールでの参加申し込みを可とする方法を検討している。

## 5 2007年度第3回例会（近畿地区）の報告

2月22日(金)に神戸大学深江キャンパスにて、海洋気象学会との共催で開催した。詳細は支部ニュース第257号に掲載されている。

## 6 その他

- ・ 支部ニュース第257号の発行（2008年3月21日）  
担当の長澤理事から掲載内容が説明された。
- ・ 気象サイエンスカフェ（第2回）の開催  
5月に開催することを目指して開催場所とテーマについて検討を進めている。
- ・ 中島暢太郎氏の死去について  
創設期から長く日本気象学会関西支部の役員をつとめられた京都大学名誉教授の中島暢太郎氏が3月14日に亡くなられたので、日本気象学会関西支部長名で弔電をお送りした。